

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	橋りょう長寿命化対策事業			事業番号	35-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	土木部	吉野 雅彦	道路整備課	高梨 和美	

計 画 (Plan)						
総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち		
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり		
		施策展開の方向	16	便利で機能的なまちをつくる		
		施策	35	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進		
予算事業名	橋りょう維持管理費					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—	
関連法令等	道路法、道路法施行令、道路法施行規則					
国・県の計画等	社会資本総合整備計画:既存施設の長寿命化等の推進(防災・安全)			計画期間	平成29年度～令和3年度	
関連個別計画	伊勢原市橋りょう長寿命化修繕計画、地域防災計画			計画期間	平成25年3月～継続	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	市が管理する橋りょうは、今後、建設から50年を経過する高齢橋の割合が急速に増加し、老朽化による架け替え費用が増大することから、従来の「事後保全」から「予防保全」へ管理方法の転換を行います。平成25年3月及び令和2年3月に策定した「伊勢原市橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、予防的修繕等の実施を徹底することにより、修繕・架け替えに係る費用を、効率的な管理を行いコストの縮減を図ります。					
目的 (何をどうしたいのか)	伊勢原市橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの修繕及び耐震化などを計画的に実施し、長寿命化を図ります。					
主な対象 (誰・何を対象に)	予防保全的な修繕を進め、安全で円滑な交通環境へ対応することで、快適で暮らしやすいまちを目指します。震災時に、緊急輸送路などを確保し、市民の安全・安心を推進します。					
事業内容 (手段、手法など)	・「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、緊急輸送路等に位置づけされている橋りょうや、損傷等の状況により対策を優先すべき橋りょうに対し、修繕・耐震化を計画的に実施します。					
事業行程	項目	年度				
		令和3年度	令和4年度			
	調査設計	2橋	—			
	修繕工事	1橋	2橋			
定期点検	—	175橋				
目 標	【指標名】	【現状値】	年度			
			令和3年度	令和4年度		
	橋りょうの修繕及び耐震化済みの橋りょう数	14橋 (令和2年度)	15橋	17橋		



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	国庫補助金を活用し事業進捗を図りながら、橋りょうの詳細設計、修繕・耐震工事、橋りょう点検が滞りなく執行出来るよう、関係機関との調整を図り、取り組みを進めてまいります。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		令和3年度	令和4年度	
	調査設計	調査設計実施	調査設計実施	
	修繕工事	修繕工事実施	修繕工事実施	
	定期点検	—	定期点検実施	
実施した取組の内容	調査設計については、市道418号線(三ノ宮橋)1橋の修繕詳細設計を実施しました。 修繕工事については、市道1号線(十二神橋)、市道55号線(歌川橋)、市道634号線(熊野橋)、市道524号線(陸間橋)の修繕・耐震工事を実施しました。また、定期点検については、113橋の定期点検を実施しました。			
目標の達成状況	【指標名】	年度		
		【現状値】	令和3年度	令和4年度
	橋りょうの修繕及び耐震化済みの橋りょう数	14橋 (令和2年度)	15橋	19橋

	年度		令和3年度 実績				令和4年度 実績				
コスト	事業費合計 (a)				44,198	千円			154,928	千円	
	内訳	国県支出金 ①				22,108	千円			80,399	千円
		地方債 ②				19,400	千円			40,600	千円
		その他特財 ③				0	千円			0	千円
		一般財源 (a)-①-②-③				2,690	千円			33,929	千円
国県支出金の内容		道路メンテナンス事業費補助(補助率 5.5/10)									
その他特財の内容	受益者負担	○有 ●無		前回の改定時期							
	その他										
人件費	正規職員		0.37	人	3,027	千円	0.37	人	3,171	千円	
	その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円	
	人件費合計 (b)		0.37	人	3,027	千円	0.37	人	3,171	千円	
トータルコスト (a)+(b)				47,225	千円			158,099	千円		
単位当たりコスト	対象数	定義	市民				単位	市民			
		対象数			101,381	人			101,119	人	
	総事業費／対象数			466	円			1,563	円		

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左判断理由	橋りょうの修繕・架け替えに伴う費用の縮減と平準化を図るため、伊勢原市橋りょう長寿命化修繕計画に基づく修繕詳細設計を1橋、修繕・耐震工事を4橋実施し、さらには、定期点検を113橋実施しました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	各自治体で管理している施設数に違いがあるため、一律に比較できない事業です。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左判断理由	伊勢原市橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、平成25年度から令和4年度までの10年間に24橋の修繕詳細設計と19橋の修繕・耐震工事を実施しました。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左判断理由	国の補助金を活用し、効率的に事業を実施することが出来ました。



取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
所管部長による総評	今後、橋りょうの老朽化による架替え事業費が増大することから、「予防保全の管理」を着実にいき、コストの縮減と平準化を図る必要があります。 このため、国の補助金を積極的に活用し、「橋りょう長寿命化対策事業」を積極的に推進していく必要があると考えます。